

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●リバティア일랜드がオークスを制して二冠達成

5月21日(日)に行われた優駿牝馬(オークス・G I)では、単勝オッズ1.4倍の断然人気に推されたリバティア일랜드(牝3歳/栗東・中内田充正厩舎)が優勝、桜花賞と合わせて3歳牝馬クラシック二冠を達成するとともに、阪神ジュベナイルフィリーズからのG I 3連勝をマークしました。6馬身以上の着差での勝利(2着ハーバー)はレース史上9頭目。リバティア일랜드の単勝支持率54.3%は、本競走勝ち馬としてはレース史上歴代5位です。

### ●春の新潟リーディングは菱田裕二騎手

5月21日(日)をもって1回新潟競馬が終了し、8勝をあげた菱田裕二騎手(栗東・岡田稲男厩舎)が、自身初となる春の新潟競馬リーディングジョッキーに輝きました。

### ●竹之下智昭騎手が引退

竹之下智昭騎手(栗東・千田輝彦厩舎)は、5月20日(土)をもって騎手を引退しました。JRA通算成績は2162戦93勝で、今後は千田輝彦厩舎で調教助手となる予定です。

### ●北海道トレーニングセール2023が開催

5月23日(火)、札幌競馬場において「北海道トレーニングセール2023」が開催されました。上場された116頭(牡駒72頭・牝44頭)のうち91頭(牡53頭・牝38頭)が売却され、売却率は78.4%、総売上額は6億6704万円。最高価格をつけたのは、牡馬がピサノプリヴェ2021(父リアルディーズ/四代母は米G 1勝ち馬)で2420万円、牝馬がパラダイスコープ2021(父リアルスティール/祖母は米G 1勝ち馬)で2145万円でした(金額はすべて税込)。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●東京プリンセス賞は船橋のサーフズアップ【各地の主要3歳重賞】

東京プリンセス賞(5月11日、大井、1800<sup>円</sup>、牝馬)は、3番手を進んだ2番人気のサーフズアップ(父ドレフォン)がゴール前で差し切り、ユングフラウ賞に次ぐ重賞勝ち。単勝1.4倍という圧倒的な支持を集めた桜花賞(浦和)の覇者メイドイットマムは3着でした。のじぎく賞(5月11日、園田、1700<sup>円</sup>、牝馬)は、4番手から2周目3、4コーナー中間で先頭に立った単勝1.6倍で断然人気のスマイルミーシャ(父カレンブラックヒル)が5馬身差で圧勝、兵庫2歳王者の貫禄を示しました。北日本新聞杯(5月14日、金沢、1700<sup>円</sup>)は、中団から2周目4コーナー手前で抜け出した2番人気のノブノビスケッツ(牡、父マインドユアビスケッツ)が後続を6馬身引き離し、2歳時の兼六園ジュニアCに続く重賞タイトルを獲得しています。

### ●シャマルらが参戦、5月31日のさきたま杯(浦和)

さきたま杯(Jpn II、5月31日、浦和、1400<sup>円</sup>)は、1400<sup>円</sup>以下でJpn III 4勝のシャマルが中心、3連勝中のコンシリエーレが続き、バストラットレオン、テイエムサウスダン、イグナイター(兵庫)までが争覇圏内と考えられます。

### ●6月1日の北海道スプリントCで連覇を狙うダンシングプリンス

北海道スプリントC(Jpn III、6月1日、門別、1200<sup>円</sup>)は、59<sup>秒</sup>でも昨年の覇者ダンシングプリンスが最有力、以下ケイアイドリー、ジャスティン、アイオライトの順に有力視されます。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G 1 ブリークネスS~ナショナルトレジャーが制す

現地5月20日にアメリカ・メリーランド州のピムリコ競馬場で行われた米三冠の2戦目にあたるG 1 ブリークネスS(3歳、ダート1900<sup>米</sup>)は、逃げたナショナルトレジャー(牡3歳、父クオリティロード)がG 1 米シャンパンSの勝ち馬ブレイジングセブンズとの競り合いをアタマ差で制して優勝。後方から差し切ったG 1 ケンタッキーダービーとの二冠を狙ったメイジは中団よりやや前につけましたが、直線で伸び切れず3着に終わりました。重賞初制覇を大舞台で飾ったナショナルトレジャーは昨年9月のデビュー戦(ダート1300<sup>米</sup>)を制しましたが、その後はG 1 アメリカンファラオS 2着、G 1 ブリーダーズCジュベナイル3着で2歳シーズンを終了。今年に入ってからも1月のG 3 シャムSが3着、前走4月のG 1 サンタアニタダービーも4着に敗れていました。鞍上のJ. ヴェラスケス騎手はこのレース初制覇。管理するB. パファート調教師はシルバーチャーム(1997年)、リアルクワイエット(98年)、ポイントギヴン(2001年)、ウォーエンブレム(02年)、ルッキンアットラッキー(10年)、アメリカンファラオ(15年)、ジャスティファイ(18年)に続く8勝目となり、新記録を打ち立てました。